今、この人に会いたい

この番組では四国中央テレビ独自の目線で、
今が旬の人物にスポットを当てて紹介しています。

放送日 5月1日(日) 12:15～

アート作家　仙波（せんば）　慶伸（よしのぶ）さん(75)

四国中央市妻鳥町で生まれ育つ。網膜色素変性症を患う視覚障がい者で、盲導犬とともに生活。高校で美術部に入部し、油絵を始める。その後、表現方法を工夫し制作活動を継続、美術仲間とともに定期的に展覧会を開催している。2022年1月に、絵画作品が「第4回　日本財団　DIVERSITY IN THE ARTS　公募展」審査員賞に選ばれた。第3回展の入賞に続き2度目の受賞となる。

自分なりの表現

幼少の頃から暗いところが見えにくく、一人で絵を描いたり、小学校の砂場で遊ぶことが好きでした。中学生になると、ボールなど動いている物が見えにくくなっていました。担任の先生が美術教師だったこともあり、美術部を作り週に１～２枚の絵を描くように。そして様々な展覧会へ足を運ぶうちに、油絵に興味を持ち始めました。高校入学後はすぐに美術部へ入り、油絵を学び積極的に県展などに出展しました。その頃、美術雑誌でアメリカのモダンアートが紹介され、前衛的な作家が増えてきていました。ドイツのある芸術作家の「物を置くだけでも作品になる」という考えに影響を受け、これは自分に適した表現方法だと感じ、立体的な物を寄せ集めて制作する技法（アッサンブラージュ）を取り入れることに。現在、仙波さんのアトリエにアンティーク家具などが数多く存在するのは、その名残だと言います。

「Urban」
日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS 提供

高校卒業後は、通信制大学で美術の教員免許を取得。養護学校で指導員として勤務していましたが、「病気の進行によりいずれ視力を失う可能性がある」と医師から言われており、今のうちに本物の絵を見ておこうとヨーロッパ縦断一人旅へ。半年かけてドイツ、フランス、オーストラリア…ギリシャの美術館を巡るなかで、自分の表現方法は間違っていないと確信しました。様々な展覧会に出展してきましたが、仙波さんの作品は油絵や水彩画のようなオーソドックスな分野ではないため、なかなか受け入れられなかったのだとか。額縁から前にも横にもはみ出している作品は、主催者側から何度も注意されたと苦笑い。そんななかでも理解を示してくれた新聞記者がおり、自分の作品が新聞で紹介されるとうれしかったと話します。

「描く」ことからの解放

ヨーロッパの旅から２年後、25歳の頃にパリの美術学校で学ぶため再びフランスへ。そこで目の当たりにしたのが、日本とフランスの美術教育の違いでした。日本ではデッサンなどきちんと描くことを重視する一方、フランスではすでに堅実に描くことから解放されていました。教授は「何をしてもいい。もっと自分を出しなさい。」と言ってくれたそうです。「きちんと描くことを求められていない」このことが、仙波さんの制作活動のさらなる自信になっていったのです。

「E-Mail」

帰国後は、幼稚園や紙のまち資料館などで絵画を教えながら制作活動に励みました。型にはまらない作品を制作していこうと、若い作家たちが立ち上げたグループに参加し、県内外で展覧会を開催。メンバーには、一般的な作品である、人物や風景を描く人はいなかったと笑って話します。

感じてもらうだけでいい

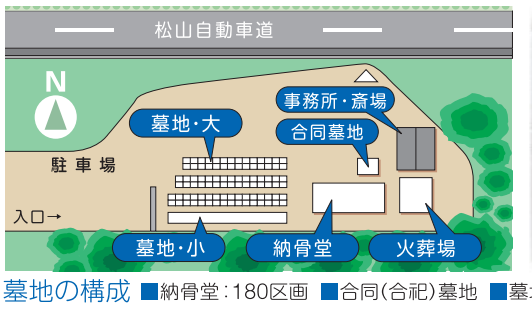
40代はまだ新聞を読めたし、自転車にも乗れました。50代になると一人で歩くことが危なくなり、道路の溝に落ち込むこともしばしば。60代にはほとんど目が見えなくなりました。収録した仙波さんの自宅には、自身の作品をほとんど飾っていません。それは、目が見えなくなるにつれて作品を残しておこうという気持ちがなくなっていったから。そして、まだ進歩の途中でもっといい作品ができると思っているから。完成した作品は解体して、また次の作品に使用することもあるのだとか。

作品を見た人から「説明してもらわないとわからない」と言われることがあるけれど、自身の作品は完成したものが到達点ではないから「説明して終わり」とはいかない、と熱く語ります。見る人のとらえ方が間違っていてもいい、作品から何かを感じてもらうだけでいい。みんな違う生き方をして今がある、だから自分と同じ考え方を求めるのは難しいのだと。そう考えれば、障がいがあっても制作活動を続けていけるのでは、思っています。

昨年、障がい者の芸術活動を支援する「第３回 日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS 公募展」で造形作品「E-Mail」が入賞、今年の第４回展では絵画作品「Urban」が審査員賞に選ばれました。今後は、空間アートに挑戦したいと考えています。異空間を体感してもらう作品を作り上げたい。そのために、パネルやウインドーではなく、作品を際立たせる強い壁を有する美術館があれば…と願います。

募集 土木技術者 委細面談
大型ダンプ運転手
薦田建設株式会社 愛媛県新居浜市宮原町2番17号 お問合せ TEL 0897-41-7079 FAX 0897-43-9126

大切な友（ペット）に永遠（とわ）のやすらぎを
ペット供養の里
愛永遠瑠
えとわーる
墓地販売 納骨 墓地管理 火葬 葬祭品販売 送迎



墓地の構成 ■納骨堂：180区画 ■合同(合祀)墓地 ■墓地・大：90区画 ■墓地・小：136区画
愛媛県新居浜市船木甲2968番地1
TEL 0897-66-2855
MAIL info@etowaru.com
URL https://www.etowaru.com

株式会社ライフネット
FAX 0897-45-0079
TEL 0897-45-0054
新居浜店
新居浜市田の上1-20-6
西条店
西条市港新地99-5
0120-653-656

1級技能士の店/石匠位認定店
有限会社
井上石材店
墓　石・墓　地・灯　篭・各種石工事
仏　具・花しば・お墓参り代行サービス
土居支店 / 土居町土居 1114-4 TEL:FAX0896-75-1575
新居浜本店 / 新居浜市中萩町 3-26 TEL:FAX0897-41-5762